

石川県リハビリテーションセンター

ISHIKAWA PREFECTURAL REHABILITATION CENTER

障害のある人の自立生活および
社会参加の支援と
バリアフリー社会の実現を目指して



事業案内

明るい未来。 限りない希望。 そして 強く大きな気持ちを抱いて。

当センターは、さまざまな障害のある人々に対し
地域の保健・医療・福祉の関係機関との連携のもと
医学的リハビリテーション、社会リハビリテーションの推進および、
教育リハビリテーション、職業リハビリテーションを行う関係機関との連携により
障害のある子どもからお年寄りまでの社会復帰や在宅生活の自立、
教育・就労などの社会参加を目指した支援を行います。



高度で専門的なリハビリテーション医療の提供（指定管理）

リハビリテーション専門医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカーなど専門職のチームアプローチにより、最新で最適なリハビリテーションサービスを提供します。医学的リハビリテーションは、県が指定管理する済生会金沢病院が診療・病棟を提供します。



フロアガイド

教育研修部門	4F
管理部門 地域リハビリテーション部門	3F
言語療法室 リハビリテーション検査室 バリアフリー推進工房研究開発室	2F
理学療法室 作業療法室 診察室 水治療室 テクニカルエイド室 受付	1F

渡り廊下

バリアフリー体験住宅
ほっと
あんしんの家



専門職の研修、講演会用の大・小研修室



集いの場としての交流室



専門職の合同会議などを開催する地域連絡室



相談室（3室）



失語症などの専門治療に取り組む言語療法室



最新の福祉用具による試用・適合支援室



検査室Ⅰ（電動車椅子適合支援）



検査室Ⅱ（自動車運転支援）



明るく広いドーム型の理学療法室



自立生活を目指した作業療法室



バリアフリー推進工房受付



自助具などの展示室



テクニカルエイド室

バリアフリー体験住宅 ほっとあんしんの家



福祉用具や住環境の調整による自立生活と社会参加の促進を目指し、安心の住まいや道具に触れて、確かめて最適な生活を提案します。

事業案内

障害のある人の自立した日常生活や社会参加を促進することの重要性について理解を深め、バリアフリー環境の大切さや、自然に支えあうことのできる社会の実現を目指して普及啓発を行います。

- 障害のある人や高齢者の自立生活や社会参加を支援します。
- 福祉用具やバリアフリー環境を用いた教育・研修を行います。
- 製品・住環境のユニバーサルデザインを支援します。
- 福祉用具やユニバーサルデザインの情報を提供します。

<事業の一例>



動作確認とプラン検討



専門職への技術研修



ユニバーサルデザインの検討・評価



住環境・福祉用具の展示と情報提供

バリアフリー体験住宅 ほっとあんしんの家

[見学・相談無料]

TEL 076-266-2869 FAX 076-266-2864

E-mail: iprc@pref.ishikawa.lg.jp

開館日/年中無休 9:00~17:00 休館日/祝日、年末年始

バリアフリー体験住宅 ほっとあんしんの家

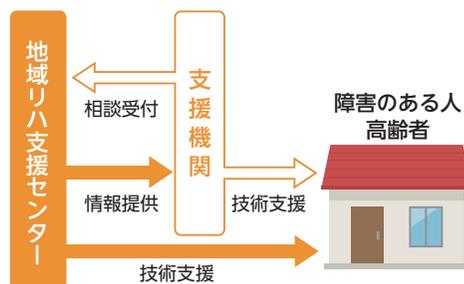


地域リハビリテーション支援センター

リハビリテーション専門相談、研修を通して地域の保健・医療・福祉関係機関の連携を支援します。

障害のある人や高齢者が住み慣れた地域で安心して生き生きと生活できるよう、県内の保健・福祉・医療・就学・就労支援機関などから地域リハビリテーションに関する技術的支援・協力依頼を受け、当センターの理学療法士、作業療法士、リハビリテーション工学技師、保健師などの専門スタッフがチームを組んで、自立生活や社会参加を支援します。

また、当センターが支援拠点となり、県内のリハビリテーション専門職をはじめ各種支援機関の協力を得て、県内の地域リハビリテーションを積極的に推進します。



リハビリテーション専門相談

住み慣れた地域での自立した生活を支援します。支援機関からのリハビリテーションに関する相談をお受けします。

● 個別相談・支援の内容

- 福祉用具の適合や住環境調整による自立支援
- 日常生活動作 (ADL: 食事など)、生活関連動作 (IADL: 家事など) の自立を促す支援
- 健康管理、機能低下や変形、生活不活発の予防に関する支援
- 障害のある人の自動車運転に関する支援
- その他リハビリテーションに関する相談など



● 事業支援の内容

- 施設環境の調整や福祉用具の導入に関する相談
- 市町が実施する介護予防事業、職場での腰痛予防に対する講師派遣などの協力
- 保健福祉センターが実施する研修などへの協力



リハビリテーション専門研修

これからのリハビリテーションを担う人材を育成します。医療・福祉・介護・教育の方々に対して、リハビリテーションの視点から知識・技術を伝達する研修です。

講演、講義、実習やグループワークなど様々な形態で、主体的な学びをサポートします。開催日程、内容につきましては、当センターHPをご覧ください。



地域リハビリテーションの体制づくり

地域の保健、福祉、介護、教育、行政の方々と協働し、リハビリテーションに関する専門研修や専門相談を通じて、関係機関との連携を図り、地域リハビリテーションネットワークの形成を推し進めます。

● 高齢者の予防的リハビリテーション分野

(リハビリテーション専門職広域派遣事業)

地域包括ケアシステム構築に向けて、リハビリテーション専門職の資質向上と支援組織の充実を目的に、石川県理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会と当センターが協働し、研修などを通して市町が実施する介護予防・日常生活支援総合事業に協力できる育成体制を構築します。



● 障害者の社会リハビリテーション分野

(障害者自立支援機器普及アンテナ事業)

障害のある人が住み慣れた地域で、自立的な日常生活や社会参加ができるよう、相談支援および福祉用具を用いた技術支援が受けられる体制づくりを目指した地域連携の構築や、人材育成に取り組みます。



地域リハビリテーション
支援センター

[相談無料]

TEL 076-266-2860 FAX 076-266-2864

E-mail: iprc@pref.ishikawa.lg.jp

開館日/平日 8:30~17:15

休館日/土・日曜日、祝日、年末年始

石川県 地域リハビリテーション支援センター



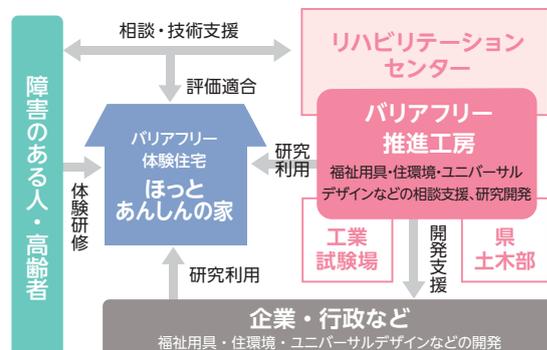
バリアフリー推進工房

医・工学専門職の連携により、障害のある人への自立生活支援や企業・行政などへの技術支援を行います。

リハビリテーションセンターと工業試験場、県土木部建築住宅課の医学連携組織であるバリアフリー推進工房では、障害のある人へのテクニカルエイド※の実践により、身体特性やニーズを的確に把握し、福祉用具や住環境、ユニバーサルデザイン製品の研究開発・技術支援を行います。

また、これらを円滑に推進するために、障害のある人をはじめ、県内の医療・保健・福祉機関および大学、産業界などとのネットワーク形成を図ります。

※テクニカルエイド：福祉用具の活用や住宅改修などによる自立生活支援



相談・技術支援

● テクニカルエイド

既成品では対応が難しい福祉用具の改良や住環境の適合に関する支援を進める過程で、モデル試作や試用評価の支援を行い、自立生活の実現を図ります。



書見台付きのパソコンスタンド



姿勢変換・立ち上りしやすい電動椅子



簡易型電動車椅子の車載装置



屋内外出入りの段差解消

● 企業などへの開発支援

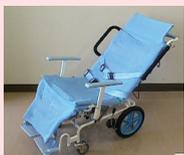
障害のある人のニーズ把握、モニター検証などを通して、企業における福祉用具・ユニバーサルデザイン製品の開発を支援します。



パソコン固定台（机上・スタンドタイプ）



軽量で持ち運びしやすいスロープ



リクライニングできるシャワーチェア



車椅子でも使いやすい引戸ハンドル

● 公的施設などへのバリアフリー支援

公共建築や町並みなどについて、障害のある人とともに検討・評価を重ね、より多くの人々が利用しやすいバリアフリー環境の条件整理、建築設計を支援します。



いしかわ総合スポーツセンター



石川県立図書館



トイレ・シャワー室などのバリアフリー支援



回廊本棚・通路などのバリアフリー支援

研究・開発

リハビリテーション専門職とものづくりの専門職が連携してテクニカルエイドを実践し、その技術蓄積から福祉用具や住環境などの開発ニーズを抽出し、障害のある人とともに研究開発を進めます。

また、これらの研究成果を企業などへの製品開発支援に繋がります。



● 姿勢変換可能なコンパクト軽量電動車椅子の開発プロセス



バリアフリー推進工房

【相談無料】

TEL 076-266-2860 FAX 076-266-2864

E-mail: iprc@pref.ishikawa.lg.jp

開館日/平日 8:30~17:15

休館日/土・日曜日、祝日、年末年始



難病相談・支援センター

難病患者や小児慢性特定疾病の児童など、長期にわたって療養されている人とそのご家族、支援者への支援を行います。

難病患者が地域で安心して療養しながら暮らし続けていけるよう、相談・支援や地域交流活動の促進および就労支援などを行う拠点施設として、2006年5月にリハビリテーションセンター内に設置（難病法第29条）され、難病患者の療養・生活・社会参加を支援します。

■ 相談・支援

保健師などが電話や面接・訪問により、病気や療養上の悩みなどの相談に応じます。そのほか下記の相談を行っています。（相談・支援は要予約）

- 理学療法士、作業療法士による、病気の進行や身体特性に応じた、日常生活などの相談・支援
- 神経内科医、免疫内科医、整形外科医による専門医相談
- ピア・サポーターによる相談（患者同士による相談）
- 就労に関する相談・支援
 - 難病患者就職サポーターによる就労相談
 - 職場のバリアフリー支援や福祉用具などの導入相談



面接相談

<医療費助成制度>

指定難病や小児慢性特定疾病の医療費助成制度があります。申請の手続きは下記の保健福祉センター（金沢市は福祉健康センター）で行っています。

問い合わせ・申請窓口	電話番号
南加賀保健福祉センター	0761-22-0793
南加賀加賀地域センター	0761-76-4300
石川中央保健福祉センター	076-275-2250
石川中央河北地域センター	076-289-2177
能登中部保健福祉センター	0767-53-6894
能登中部羽咋地域センター	0767-22-1170
能登北部保健福祉センター	0768-22-2011
能登北部珠洲地域センター	0768-84-1511
金沢市泉野福祉健康センター	076-242-1131
金沢市元町福祉健康センター	076-251-0200
金沢市駅西福祉健康センター	076-234-5103

■ 研修

● 難病患者や家族を対象とした医療講演会や研修会

- 病気や日常生活の注意点などについて学ぶ研修を行います。
- パソコン・タブレット教室を月2回開催しています。（初回参加時は事前予約が必要）



パソコン・タブレット教室

● 支援関係者研修

- 難病ホームヘルパー養成研修、相談支援担当者研修を開催します。
- 保健、医療、福祉系の学生を対象に、難病患者やご家族による体験談や患者会の活動紹介（語り部事業）を行います。



語り部事業

■ 患者・家族の交流支援

- 疾患を限定しない難病患者とご家族の交流会を月1回開催しています。（初回参加時は事前予約が必要）
- 同じ病気の難病患者同士の交流の場を要望に応じて設けます。
- 難病患者団体等連絡会の開催や、患者会などの活動支援を行います。



患者交流会

■ 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

- ご家族や支援者などが病気を正しく理解することで、子育てや療養生活の不安の軽減につながるよう、専門医等相談会や交流会を行います。
- 関係機関との連携調整や小児慢性特定疾病の相談窓口紹介などを行います。



相談会・交流会

難病相談・支援センター

[相談無料]

TEL 076-266-2738 FAX 076-266-2864

E-mail: nanbyou@pref.ishikawa.lg.jp

開館日/平日 8:30~17:15 土曜日 8:30~12:30

休館日/日曜日、祝日、年末年始



石川県 難病相談支援センター

高次脳機能障害相談・支援センター

高次脳機能障害によって日常生活や社会生活に制限のある人とその家族、支援者への支援を行います。

高次脳機能障害は「見えない障害」とも言われており、外見では障害があることが分かりにくく、社会生活で支障が出て初めて気が付くことがあります。そのため、2001年「高次脳機能障害の診断基準」が提示され、2006年の障害者総合支援法で、各都道府県に支援拠点機関が設置されることになりました。

当センターは支援拠点機関として、専門的な相談支援、支援ネットワークの充実、高次脳機能障害への正しい理解を促進するための普及・啓発事業、支援手法に関する研修などに取り組みます。



■ 相談・技術支援

保健師、作業療法士などが、電話や面接、訪問により次の相談・支援を行います。

- 日常生活に関する相談・支援
- 医療福祉サービスの利用に関する相談・支援
- 就学、就労に関する相談・支援
- グループを活用した支援
(患者向け教室・家族向け教室)



生活支援教室

■ 研修

患者・家族および高次脳機能障害者の支援に携わる人を対象に研修会を行います。

■ 地域の体制づくり

地域の医療、福祉・就労などの支援機関の連携・調整を図り、地域の支援ネットワークを構築し、患者やその家族などに具体的な支援機関に関する情報が提供される体制づくりを行います。

■ 普及啓発

高次脳機能障害の正しい理解を普及・促進するための講演会や出前講座を開催します。



本人・家族のための講座

? 高次脳機能障害とは

病気やケガなどで脳が損傷することにより、記憶や注意などの認知機能障害がおこり、日常生活や社会活動に制限を受ける状態になることを高次脳機能障害と言います。

症状

記憶の障害



- 一日の予定を覚えられない
- 同じことを何度も尋ねる
- 自分の言動を忘れる

注意の障害



- 気が散りやすい
- 落ち着きがない
- 物事に集中できない

遂行機能の障害



- 物事の段取りがつけられない
- 物事を計画的に進められない
- 急な出来事に対応できない

社会的行動障害



- 感情コントロールができない
- 人間関係を保つのが苦手
- やる気がない
- こだわりが強い

イラスト：OTナガミネのリハビリイラスト集

高次脳機能障害
相談・支援センター

[相談無料]

TEL 076-266-2188 FAX 076-266-2864

E-mail: iprc@pref.ishikawa.lg.jp

開館日/平日 8:30~17:15 土曜日 8:30~12:30

休館日/日曜日、祝日、年末年始



石川県 高次脳機能障害相談支援センター

リハビリテーションの理念

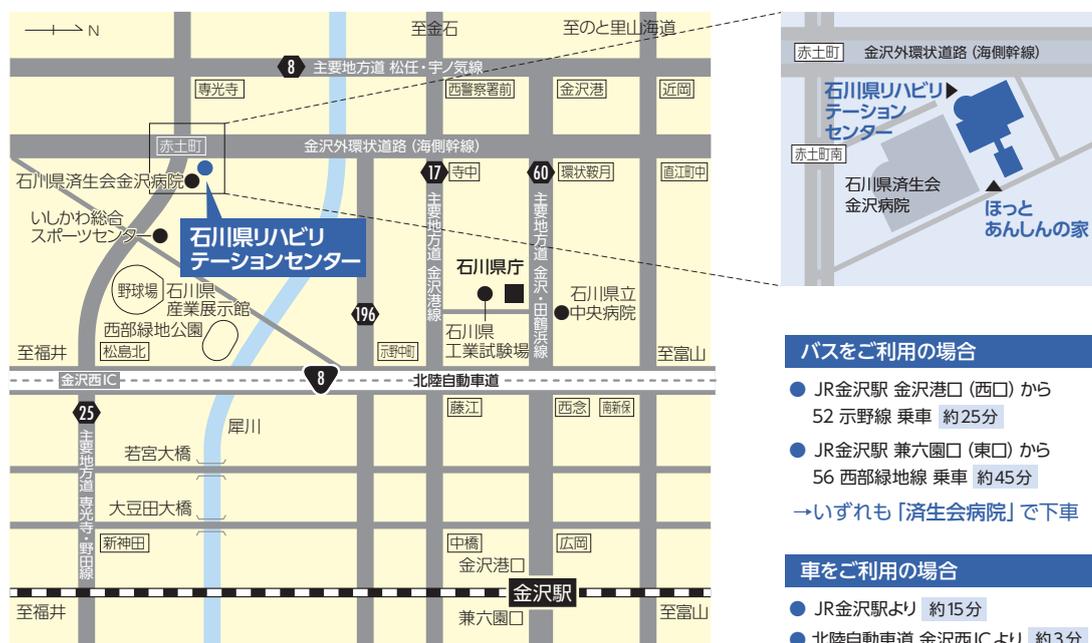
- 1 リハビリテーションは、その人の出来ないことをたずねるのではなく、出来ることを発見・拡大させることである。
- 2 障害をもっていても人間性は傷つけられない。
- 3 障害を受けた人間ではなく、障害と共に生きるあたり前の人間である。
- 4 障害者を閉め出す社会は弱くもろい社会であり、社会を障害者・老人などにとって利用しやすくすることは、社会全体にとっても利益となるものである。

国連総会における国際障害者年の勧告より

沿革

- 1994年10月 リハビリテーションセンター業務を開始
- 1996年4月 バリアフリー推進工房設置
- 1998年7月 「バリアフリー体験住宅ほっとあんしんの家」オープン
- 2006年4月 済生会金沢病院がリハビリテーション医療部門の指定管理者となる
- 2006年5月 難病相談・支援センター設置
- 2007年4月 高次脳機能障害相談・支援センター設置

Access



石川県リハビリテーションセンター

〒920-0353 石川県金沢市赤土町二 13-1

TEL 076-266-2860 (代表) FAX 076-266-2864

E-mail: iprc@pref.ishikawa.lg.jp

開館日/平日 8:30~17:15

休館日/土・日曜日、祝日、年末年始

URL: <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kousei/rihabiri/>



石川県リハビリテーションセンター